

基本的課題 4

《男女がともにあらゆる分野へ参画できるまちづくり(男女共同参画によるまちづくり)》

(1) 政策・方針決定の場への女性の参画拡大

① 女性のエンパワーメント支援

No.	具体的施策	担当課	29年度の実施状況	30年度取組み予定	実施上の課題	八代市男女共同参画審議会意見・提案
87	女性のエンパワーメントのための意識改革及び能力開発	人権政策課	女性のスキルアップをテーマにセミナーを3回開催した。	女性の活躍推進をテーマに男女共同参画推進セミナーを開催し、意識啓発を図る。	今後も継続的な実施が必要	
88	女性のチャレンジ支援	人権政策課	政策・方針決定の場への参画促進のため、女性人材リストを整備し、各種審議会や委員会委員への登用促進を図った。	H29年度と同様に実施する。	今後も継続的な実施が必要	
89	女性の学習グループの活動の支援	人権政策課	八代市男女共同参画参画社会づくりネットワーク(八代みらいネット)の事務局として活動を支援した。	H29年度と同様に実施する。	今後も継続的な実施が必要	
		生涯学習課	実施なし	計画なし	女性の学習グループの活動支援を目的とした事業を行っていない。	

② 市の審議会、委員会等への女性の積極的登用

No.	具体的施策	担当課	29年度の実施状況	30年度取組み予定	実施上の課題	八代市男女共同参画審議会意見・提案
90	審議会、委員会等への女性の積極的登用	全課かい (人権政策課)	政策・方針決定の場への参画促進のため、女性人材リストを整備し、各種審議会や委員会委員への女性人任要請などを行った。庁内の内部情報システムにおいて女性人材リストの積極的な活用について呼びかけた。 H29年度リスト提供数：6件	前年度同様に取り組む。		

③ 地域活動における方針決定の場への女性の参画促進

No.	具体的施策	担当課	29年度取り組み	30年度取り組み予定	実施上の課題	八代市男女共同参画審議会意見・提案
91	地域で活躍する女性リーダーの育成	人権政策課	広報紙、HPなどで熊本県男女共同参画社会づくりリーダー育成事業の参加者を募集した。	H29年度と同様に実施する。	今後も継続的な実施が必要	
92	地域活動における方針決定の場への女性の参画促進	市民活動政策課	男女参画の推進に関する情報を広く市民へ提供した。 ・広報紙折込、コミュニティセンターでのポスター掲示・チラシ設置、地域協議会連絡会議	引き続き、男女参画の推進に関する情報を市民へ提供する。	特になし	
		生涯学習課	市の社会教育団体であるPTA連絡協議会において女性が活躍しているが、さらに「男女共同参画の推進」を進めた。	各種活動への女性の参画を促進していく。		
		人権政策課	いっそDEフェスタにおいて、「地域における男女共同参画」をテーマに講演会を開催した。	実施予定なし	今後も継続的な実施が必要	

④ 民間企業・団体等における方針決定の場への女性の参画促進

No.	具体的施策	担当課	29年度取り組み	30年度取り組み予定	実施上の課題	八代市男女共同参画審議会意見・提案
93	事業所のポジティブ・アクション取組みの促進	商工政策課	実施なし	計画なし	事業所等に対する「ポジティブ・アクション」に関する情報をうまく把握しきれていない。今後、定期的な情報収集を実施し、周知を行うことが必要。	

		観光振興課	ふるさとマガジンに登録している会員 6,388 名へ活躍している女性事業者を 2 回発行中 2 回取り上げた。	引き続き、ふるさとマガジン等の情報誌において、女性の活躍を発信するとともに、関係機関へのポジティブ・アクションへの理解を働きかけていく。	事業所等に対する「ポジティブ・アクション」に関する実態をうまく把握できていない。	
--	--	-------	---	--	--	--

(2) 農林水産業・商工業など自営業における男女共同参画の推進

① 女性の経営への参画促進

No.	具体的施策	担当課	29 年度取り組み	30 年度取り組み予定	実施上の課題	八代市男女共同参画審議会意見・提案
94	女性の登用促進	農林水産政策課	JA の女性理事は 2 名。八代市農業委員会の女性委員は 2 名。 農業委員については、30 年度から新制度での改選となることから、女性の登用についても法の配慮事項となっていることから、女性が選任できるよう準備を行なった。 29 年度から農事研修センター、農村婦人の家、龍峯農業研修所はコミュニティセンターに移行し、各運営委員会は廃止された。	JA の女性理事の登用について、引き続き要請を行っていく。 農業委員について、30 年度の改選から市長の選任となることから女性の選任について 1 割以上の登用ができるよう配慮を行う。	農業委員の登用については、法での配慮事項になっていることから、各農業団体等に女性農業委員の推薦を依頼しているが、なり手がみつからない状況。	
		水産林務課	各漁協や森林組合等に対して、役員への女性登用を働きかけた。	漁協や森林組合理事への女性登用について、組合の理解を得られるよう啓発を行っていき、各団体とも最低でも 1 名以上を登用する。	女性役員の登用は、漁協においては 1 名のみであり引き続き働きかけが必要である。	
		商工政策課	八代市工業振興協議会の理事として女性経営者に委員となってもらっている。	引き続き関係する組織等においては女性の登用を積極的に行うよう働きかけを実施していく。	経営層には依然として男性が多く、女性の登用を働きかけるうえではより一層の啓発活動が必要。	
95	農業協同組合及び漁業協同組合の女性正組合員加入の促進	農林水産政策課	加工や販売などを積極的に行っている女性の正組合員への促進依頼。	農産物や加工品の開発・販売など女性が得意とする分野も多く、JA の運営において今後も女性の正組合員加入への促進は必要であるため、今後も継続した働きかけが必要と思われる。	正組合員は 1 世帯 1 人、世帯主がなられている場合が多く、夫婦で組合員となる機運が広がっていない。	

		水産林務課	各漁協や森林組合等に対して、女性の正組合員加入、役員登用について啓発を行った。 ・現在の女性組合員の状況漁協組合員 約 1,003 名中、約 107 名 森林組合員 約 3,095 名中、約 509 名	世帯主が男性であっても、加工や販売などを積極的に行っている女性に、漁協や森林組合の組合員への加入について、組合の理解を得られるよう啓発を行う。	女性組合員数は、増加しているものの役員への登用が少ないことから、引き続き役員への登用についても啓発を行う必要がある。	
96	女性の経営参画促進	農林水産政策課	【新規就農者のための農業講座】 女性農業者を含む新規就農者に県が主催するくまもと農業アカデミーへの参加を促した。結果女性の参加はなかった。	【農業技術者養成講座】 土づくりに特化した開講予定の講座への女性農業者の参加を促す	講座の性格上、なにかに限定した募集は難しいため、広く周知をしたとしても、結果女性の参加がない場合が多い。	
		水産林務課	各漁協を通じて、女性向けの講習会等への参加を促した。 また、女性だけで組織されている林業研究クラブの五家荘しゃくなげ会では、八代林業普及協会への加入により、講習会等への参加機会が増加した。	漁協・森林組合を通じて、女性の生産技術、経営管理能力の向上に関する情報を提供する。 講習会や研修会及び交流の機会については、市としても積極的に出席し、情報の共有化を図る。	女性グループの講習会等への積極的な参加を促すため、引き続き開催情報の提供や活動への支援が必要である。	
97	女性リーダーの育成	農林水産政策課	【女性認定農業者の認定】 認定農業者の更新時に、夫婦共同申請を推奨した。 【家族経営協定】 家族経営協定を締結し、経営に参画している女性農業者には、農業者年金、農業改良資金等のメリットがあることを伝え、家族経営協定の締結を促進。 【くまもとふるさと食の名人】 地産地消や地域の食文化の伝承を担う熊本県の認定制度において2名追加認定された(計管内2名)更なる技術向上を目指して他地域も含めた食の技交換会が市内で開催された。 【熊本県農業女性アドバイザー】 新たに1名のアドバイザーが認定され管内9名の認定者となった。 八代地域において熊本県全体研修会が行われ、これを八代市のアドバイザーグループで主催した。	家族経営協定締結を推進することにより、女性の農業経営参画を促進していく。 【くまもとふるさと食の名人】 管内からの認定について、最低1名推薦できるよう情報収集を行う。 【熊本県農業女性アドバイザー】 管内から新たに2名のアドバイザー認定の推薦を行うとともに、各種研修会等への参加を促す。	平成29年度は再締結を含め13件の家族経営協定の締結が行われた。平成30年度はもう少し増加するようにしたい。 【くまもとふるさと食の名人】 【熊本県農業女性アドバイザー】とも各方面の担い手の高齢化もあり、候補者は枯渇傾向である。	

② 女性の起業に対する支援

No.	具体的施策	担当課	29年度の取組み		29年度以降の取組み	八代市男女共同参画 審議会意見・提案
98	農林水産業の振興 につながるチャレンジ活動への支援	農林水産政策課	以前は、商品開発補助金があったが、現在は該当する事業がない			
		水産林務課	各漁協や森林組合を通じて、情報提供を行った。また、林家関係者による、水と緑のふれあいスクール等のイベントにおいて、シカ肉の竜田揚げやイノシシ肉のシシ汁等の実演・提供を通じてジビエ料理の理解と普及促進を図った。	漁協・森林組合を通じて、加工食品開発などの活動を支援するため、女性への情報提供を行う。	女性グループにおいても、それぞれチャレンジ的な活動を実施されているが、さらなる向上のためにも情報の提供や活動への支援が必要である。	
99	食育・交流活動等の促進	農林水産政策課	くまもとふるさと食の名人参加による消費者との交流会を開催し、そのPR活動を行った。	くまもとふるさと食の名人の「食」の技の発表の機会を創出する。	食の名人制度の市民への周知がまだ充分とは言えない。	
		水産林務課	水とみどりのふれあいスクールを開催し、女性10名の参加があった。	「水とみどりのふれあいスクール」の開催	ふれあいスクールについては、準備会議から女性グループの参加を得て、積極的に意見を出してもらい、運営面での連携が図れた。また、各漁協で継承されている地域等との取組みは、貴重な市民との交流の場であり、積極的に協力していきたい。	
		学校教育課	平成29年度食育体験活動育成事業「食育推進校」を金剛小学校に委嘱し、研究を進めた。「キラッと輝く金剛っ子の育成」～食に関する体験活動を通して～のテーマのもと、学校・家庭・地域・関係機関等と連携した取組を行うことで、食物を育てる喜び、生命を尊重し食に対する感謝の念を持つ児童を育成することができた。	平成30年度食育体験活動育成事業「食育推進校」を東陽小学校に委嘱し、研究を進めていく。 ○児童の実態を把握し、発達段階に応じた食育の推進を図る。 ○学校・家庭・地域との連携を図り、児童の食生活の実態から課題を把握し、それらの情報を家庭や地域に発信する。	東陽小学校の取組については、平成31年度県大会で発表する予定である。食育推進校における取組や児童生徒の食に関する課題を関係者間で共有し、八代市における食育推進につなげていく。	
		生涯学習課	未実施	計画なし	女性の起業を目的とした事業を行っていない。	

100	女性の起業活動の支援	農林水産政策課	国・県等からの研修棟の情報について周知し、女性農業者等が参加した。	女性グループのニーズ把握に務め、情報収集・提供を行う。	女性グループの高齢化とリーダーの育成	
		水産林務課	鏡町漁協による「鏡オイスターハウス」は、女性の視点やアイデアを生かすとともにスタッフとして活動された。 林業関係では、ジビエ料理の拡大を図るためイベント等での実演を行った。	漁協・森林組合を通じて、女性の視点やアイデアを生かした加工品の開発や起業活動に対する情報提供を行うとともに、積極的な支援を行う。	鏡オイスターハウスについては、女性の意見を取り入れたことが功を奏したが、マスコミの取材に、女性が積極的に協力できたことも大きい。他の組合でも女性のアイデアや参画を生かした取組みを進めたい。 ジビエについては、女性の細やかな感性による盛り付けや味付けの工夫により、認知を高め、特産品化を図る必要がある。	
		商工政策課	平成27年度より、創業支援のためのワンストップ窓口を設置し、商工会・商工会議所等と連携した取組を実施。その他、商品開発のための支援も実施しており、それぞれに女性経営者の制度活用の実績あり。	工会議所等との連携を深化させることで、今後も女性の起業家支援を図っていく。	創業支援のワンストップ窓口を設置したことで、女性の企業相談等についてもスムーズな連携を図ることが可能となった。	
101	農林水産業における男女共同参画意識の浸透(再掲)	農林水産政策課	農山漁村男女共同参画推進セミナーへの参加を促した。農山漁村における女性の地位向上等の事例について学んだ。	農山漁村男女共同参画推進セミナーへの多数の参加を促す。	女性農業者グループの高齢化による波及効果の低減	
		水産林務課	各種のイベントに際して、女性スタッフを登用し、企画・運営への参画を図った。 ・水とみどりのふれあいスクール 12名 (森林インストラクター 2名)	漁協・森林組合を通じて、随時、意識啓発のための情報提供に努め、女性でも対応可能であったにも関わらず、これまで男性中心で実施してきたイベントやイベントにおけるブースなど積極的な参画を促し、男女共同参画意識の浸透を図る。 また、県や市が行う男女共同参画に関する講演会等には、重ねて案内を行う。	イベントの企画・運営にあたっては、女性の意見や発想は貴重かつ重要である。 今後も積極的な参画を促す必要がある。	

(3)男女共同参画の視点に立った地域活動の推進

① 男女共同参画の視点に立ったまちづくり、地域おこしを通じた地域活性化

No.	具体的施策	担当課	29年度の取組み	30年度取組み予定	実施上の課題	八代市男女共同参画審議会意見・提案
102	男女がともに参画するまちづくり	市民活動政策課	地域協議会連絡会議において、各地域の活動状況を共有した。	引き続き、地域協議会連絡会議において、各地域の活動状況を共有する。	地域活動に女性が参画しやすい情報提供が必要。	
		環境課	「環境関係出前講座」開催 平成29年度実績 8回（165名）	「環境関係出前講座」実施予定	市職員による出前講座の開催回数は伸び悩んでいるが、近年、環境団体等による出前講座も多く開催されるようになっている。 今後、市や環境団体等との役割分担のもと、環境学習の推進を図っていくことが必要である。	
		健康福祉政策課	民生委員やふれあい委員による見守り活動を継続して実施した。	引き続き、民生委員やふれあい委員による見守り活動を行い、地域活動に参画できるように支援を行っていく。		

②防災・復興・防犯活動等における男女共同参画の推進

No.	具体的施策	担当課	29年度の取組み	30年度取組み予定	実施上の課題	八代市男女共同参画審議会意見・提案
103	男女がともに参画する安心・安全のための取組	人権政策課	女性の視点を取り入れた青少年指導員の街頭指導や、社会を明るくする運動により、青少年健全育成を通して、だれもが暮らしやすい地域社会づくりに取り組んだ。	H29年度と同様に実施する。	防災における男女共同参画の推進に係る具体的な取組が不十分	
		危機管理課	各地区の自主防災組織において、お互いを尊重した男女協働の防災活動を実施した。	各地区の自主防災組織において、お互いを尊重した男女協働の防災活動をお願いする。	少子高齢化が進む中、若者の参加を増やす必要がある。	